

# 奄美大島・喜界島農業の動き

■令和6年8月

## 1 瀬戸内町で畜産における暑熱対策研修会を実施！

7月29日，瀬戸内町勝浦地区で瀬戸内町技術連絡協議会畜産部会による暑熱対策研修会を実施し，生産者5名，関係機関5名が参加しました。大島支庁及び家畜保健衛生所から，暑熱ストレスによる生産性への影響や対策事例について情報提供後，参加者で農場の畜舎屋根に石灰を塗布しました。屋根裏温度は，石灰塗布前の約50℃から，塗布後は約37℃に下がり，畜舎内の温度上昇の抑制効果が期待できました。また，生産者間で細霧装置や屋根散水を用いた暑熱対策について情報交換しました。



石灰の準備



塗布の様子

## 2 喜界町スプレーギク産地維持・増収に向けた検討会を開催

喜界町は30年を超える露地ギク産地であるが，栽培戸数の減少が著しい。そこで，8月5日，喜界町営農支援センターで，生産者や研修生，関係者を交え，今後の産地維持と増収実現を目的とした検討会を実施しました。過去20年間の実績を振り返り，県育成品種の海外産穂木の作りこなしや品種情報など，現在の課題に沿って解説し，県農業開発総合センター普及情報課からはスマートフラワーなど県内外主要産地の事例紹介を行いました。生産者や研修生には新品目などに触れる機会となりました。



スプレーギク検討会

### 3 大島本島地区さとうきび生産振興大会が5年ぶりに開催！

8月22日、奄美市笠利農村環境改善センターで、大島本島さとうきび生産対策本部主催による生産振興大会が5年ぶりに開催され、生産者や関係機関など約100人が参加しました。優秀農家表彰では3部門で7戸の生産者が表彰されました。また、長年奄美大島でさとうきび生産振興に貢献してきた「株式会社立神Works」は、令和5年度の生産量2,054tを達成し、富国製糖特別表彰を受賞しました。現地ほ場ではビレットプランター植付実演が行われ、暑い中多くの参加者が熱心に見学していました。



ビレットプランターによる植付実演の様子